

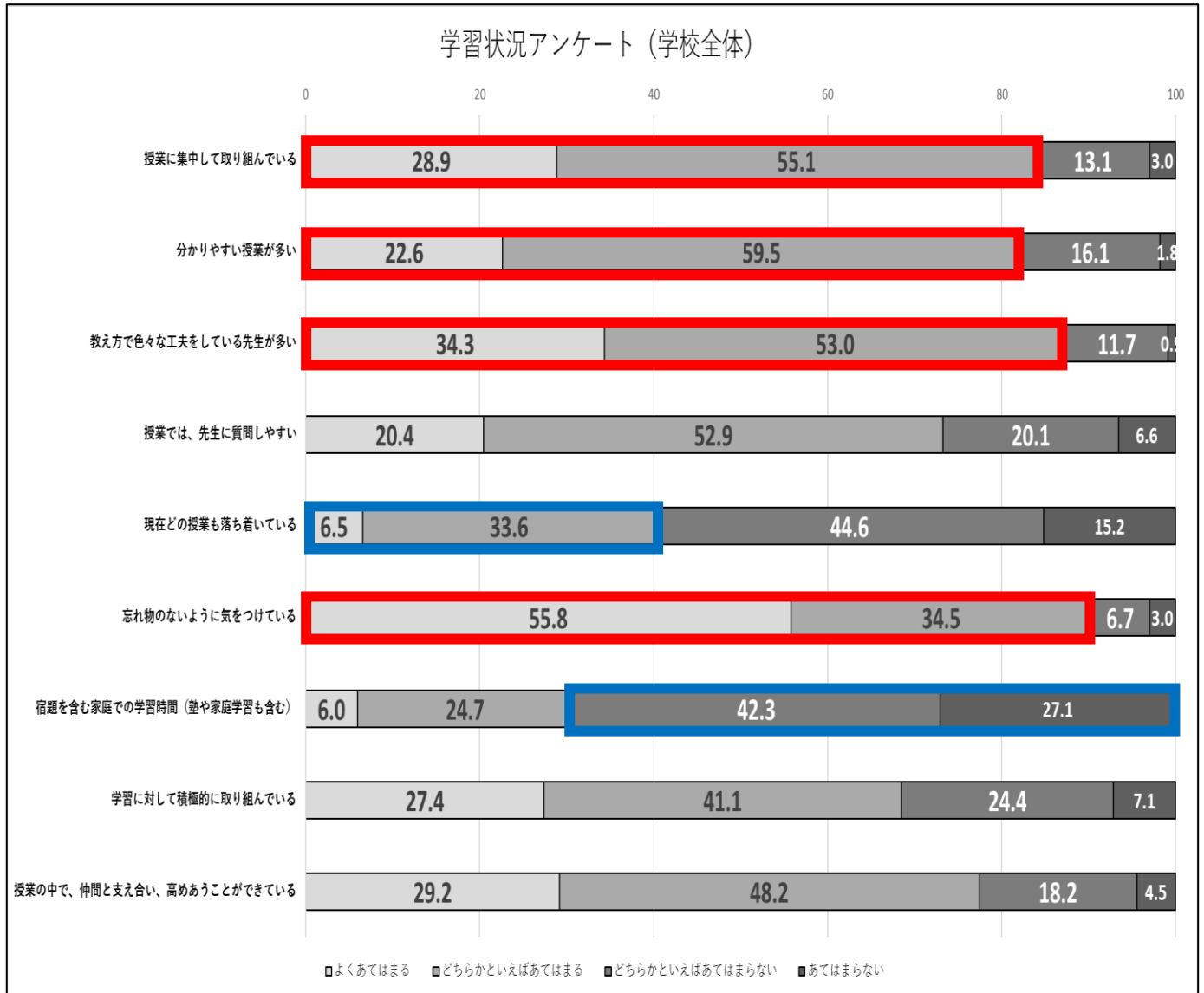


まなびのおと



● 1学期 学習状況アンケート結果

7月に行った「学習状況アンケート」の結果が出ましたのでお知らせします。この結果を踏まえて、自分自身の「学習」はどうだったのかをもう一度振り返り、2学期からの学習につなげましょう。



(家庭学習については「1日3時間以上」・「2~3時間」・「1時間程度」・「ほとんどしない」の4項目で質問した)

この結果を見て、皆さんはどのようなことを感じますか？
 良かった点と改善すべき点について考えてみましょう。

【良かった点】

- ①授業に集中して取り組んでいる生徒が84%
- ②忘れ物のないように気をつけている生徒が90.3%
- ③わかりやすい授業が多いと感じている生徒が82.1%
- ④教え方で色々な工夫をしている先生が多いと感じている生徒が87.3%



→①・②から、授業に対して、忘れ物をせずに集中して臨もうとしている人が多いことがわかります。ほとんどの人が「授業を頑張ろう」「大切にしよう」と思っていることがこの数字から読み取れるのではないのでしょうか。この意識は「当たり前」かもしれませんが、この当たり前のことを大切に続けられることが素晴らしいです。

また、③・④から、先生たちの頑張りも皆さんがちゃんと評価してくれていることもわかります。「研究授業」をはじめとして、先生たちも常に学び、より良い方法を探っていっています。より学びが理解できるようになるためには、深まるためには…先生たちも試行錯誤していますが、それを皆さんに伝わり、しっかりと感じ取ってくれていることが嬉しいですね。

これらのことから、生徒・先生ともに、四中は「学ぼうとする姿勢」がある学校と言えるのではないのでしょうか。授業は学校全体でつくっていくものです。これからも、より良い授業を目指して、生徒の皆さんと先生たちが一緒に学び続けていきましょう。

【改善すべき点】

- ①どの授業も落ち着いていると回答した生徒が40.1%（「よくあてはまる」と回答した生徒は6.5%）
- ②宿題を含む家庭学習の時間が1日1時間以下の生徒が69.4%（「まったくしない」と回答した生徒は27.1%）

→まず「どの授業も落ち着いているか」ということについて考えていきましょう。授業に集中して取り組んでいる生徒が84%、忘れ物のないように気をつけている生徒が90%に対して、「どの授業も落ち着いている」と考える生徒が40.1%というのは極端に少ないように感じます。これは、「どの授業も」という言葉からこのような低い数値になっているのではないかと考えます。「この教科は…」や「この先生は…」という言葉で自分の学習をやめてしまいませんか？学校で学ぶすべての教科・活動が、皆さんの“学び”につながっていきます。もう一度、自分自身の授業への臨み方を見直しましょう。当然、授業は生徒と先生で協力つくりあげていくものです。1人ひとりが安心して受けられる授業を、四中全体でつくりあげていきましょう。



また、家庭学習についても考えていかなければなりません。小学校では毎日細かく宿題が提示されていましたが、中学校では毎日細かくチェックされず、「〇月〇日までに 問題集を〇〇ページまで」といった形で出されることも多いでしょう。そのような課題に対して、普段は何もせず、テスト前になって慌てて課題に取り組む人が多いのが現状だと思います。結局、テスト1週間前が〈問題集を終わらせる作業〉になってしまい、〈自分のための勉強=わからないところの確認や練習など〉ができず、そうなると思うような結果が出ないので、徐々に勉強が嫌になっていく…という負の連鎖が起こっているように感じます。「その日に習ったことを、その日のうちに（家庭学習ノートや問題集等を使って）復習する。」という習慣作りから始めましょう。

「学習状況アンケート」の結果から、今の四中の実態が見えました。この結果から「自分自身」をきちんと振り返りましょう。そして、2学期からの“学ぶ姿勢”に変化があり、皆さんの力がどんどん高まっていくことを期待しています。